

## 井上町政スタート・ 議会議員十六名へ

奥出雲町二期目の町長として、井上勝博町長が就任。「笑顔と語り、元気ある町づくり」を基本理念に、更なる町の一体感の醸成と融和を図るため、様々な施策が始まりました。

また、四月には議会議員一般選挙が行われ、合併特例による両地域各十一名の定数二十二名から、全町一区の定数十六名体制となりました。



△初登庁の様子(5月8日)

## 岩田町長が勇退

昭和五十八年以来、四期二十六年にわたり、旧仁多町、奥出雲町長として町政発展に尽力された、岩田一郎町長が四月末で勇退されました。

三月には、その卓越した行政手腕が高く評価され、首相官邸で行なわれた「有識者会議」に出席し、麻生前首相らに「地方自治」の重要性を訴えられました。



△退任式の様子(4月30日)

## 高円宮妃久子さま 日刀保たたらを御訪問

一月二十三日、高円宮妃久子さまが、今年も「日刀保たたら」を訪れられ、迫力ある操業の様子や炉を壊して鏝を取り出す様子をご覧になりました。

妃殿下には、奥出雲町に伝わる伝統技術を、肌で感じていただく良い機会となりました。



## 奥出雲町消防団 五年連続表彰纏

八月九日、大田市で開催された第五十三回島根県消防操法大会で、ポンプ車の部に出場した馬木分団が準優勝(第三位)を獲得しました。

奥出雲町消防団発足以来、五年連続で表彰纏の栄に輝き、県下におけるその実力の高さを示しました。



▲馬木分団の操法

## テレビ電話による 活用事業がスタート

全国でも先駆的なモデルとなる、テレビ電話を活用したICT(情報通信技術)活用モデル事業が一月にスタートしました。

現在、高齢者の方の見守りや保健指導、生活支援などが行なわれています。



▼開始式(1月9日)

# 奥出雲町 10大ニュース

今年、岩田前町長がご勇退になり、5月から奥出雲町政2期目として井上町政がスタートしました。

国内では、天皇陛下御即位20年という、おめでたい年でありましたが、民主党への政権交代、新型インフルエンザの流行拡大、デフレの影響などにより国民生活が大きく揺れた年でした。

## 横田高校ホッケー部 全国大会で大活躍

全国高校選抜大会で  
女子が連覇



岐阜県で開催された、第十四回全国高校選抜ホッケー大会で、横田高校女子ホッケー部が二年連続三度目の優勝に輝きました。

新潟国体で初の  
アベック優勝



新潟県で開催された、第六十四回国民体育大会において、横田高校男女ホッケー部が初のアベック優勝を達成。

男子は三年連続四度目、女子は三年ぶり四度目の優勝となりました。

## 新たな郷土芸能の誕生 「奥出雲神代神楽」発祥社中

奥出雲地方の神話伝説を後世に伝える、新たな郷土芸能団「奥出雲神代神楽」が四月に誕生し、町民体育館でお披露目が行われました。

現在、町内外の公演やイベントで披露されています。



## 教育施設整備進む

### 横田中学校改修

平成十八年から四力年をかけて整備が進められていた、横田中学校耐震大規模改修工事が十月に完工しました。

校舎、体育館は安心して快適な施設として生まれ変わり、生徒たちは充実した学校生活を送っています。



▶改修が終わった横田中学校

### 亀嵩小学校改築

今年度から二力年間で整備事業が進んでいる、亀嵩小学校校舎・体育館改築工事は、現在仮設校舎が完成し、今年度末には体育館が完成する予定です。



▲工事が進む亀嵩小学校体育館

### 馬木幼稚園が開園

幼保一元化の全国でも先駆的なモデルとなる、福祉会立馬木幼稚園が、四月に開園しました。

旧幼稚園と保育所の両施設は、七十歳の渡り廊下で結ばれ、就学前の一貫した保育・教育の充実が図られました。



### 保育料の改正・子育て応援特別手当を支給

四月から町内の保育所に入所する、三歳以上の園児について、保育料月額一万五千円を上限とする、保護者の負担軽減が図られました。

また今月から、県内初となる、三歳児から五歳児の児童一人当たり、三万六千円を支給する「子育て応援特別手当」を町単独予算により支給を開始しました。

## 諸施設が竣工

奥出雲おろちループにある「交流館三國」の館内に、鉄のモニュメント彫刻で世界的に知られる、下田治先生の作品「鉄の彫刻美術館」が四月にオープンしました。



▲鉄の彫刻美術館



▲「延命水」水波み場